

# HOT LIFE NEWS



清水勝市議会レポート 2016.10.7

【発行】市民フォーラム 市議会報告  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24  
HOT LIFE NEWS 清水勝市議会レポート No.10



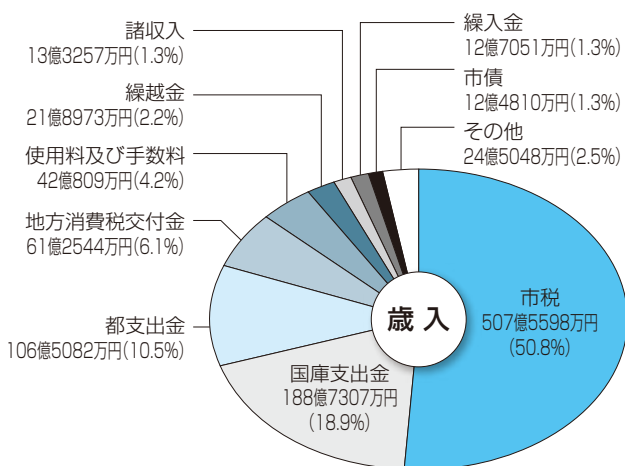
9月2日(金)～30日(金)の29日間の会期で平成28年府中市議会第3回定例会(9月議会)が開催されました。本会議、一般質問(20人30件の発言)、平成28年度補正予算、平成27年度の一般会計決算等が審議、確認されました。

## 平成27年度一般会計決算

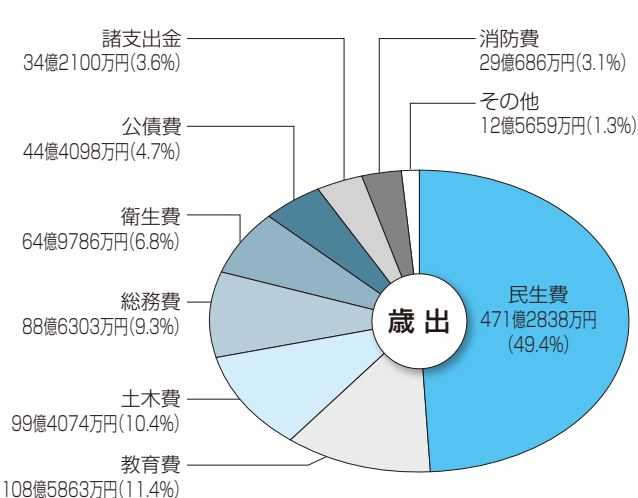
平成27年度決算特別委員会は、一般会計の歳入歳出決算認定について審議され、歳入では11人が、歳出では、延べ63人が質疑し、5会派の代表者が総括質問をしました。

本会議最終日の9月30日(金)に賛成討論、反対討論がされた結果、起立多数で可決されました。

### 歳入 / 99,841,227,269円



### 歳出 / 95,314,073,752円



歳入では、景気の回復傾向を受け、根幹となる市税収入が前年度より1.3%の増、地方消費税交付金が消費税率引き上げの影響により72.8%の増、国庫支出金が14.7%の増、保育料の予算組み替え等により使用料および手数料が92.6%の増となる一方、分担金および負担金が29.1%の減、繰越金が32.2%の減となり、一般会計の収入総額は998億4122万7269円で前年度に比べ8.8%の増、予算額に対して、98.0%の執行率となりました。

歳出では、消費税率の引き上げに伴う低所得者や子育て世帯に与える影響を緩和するため、昨年度に引き続き臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金を給付したほか、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業の進捗に伴い、府中駅南口第一地区市街地再開発組合に対して補助を行いました。また、新庁舎建設に向けて基本設計に着手するとともに、小・中学校など公共施設の老朽化対策、消防団ポンプ車の更新や防災資材の整備などの防災対策、待機児解消に向けた私立保育所等の整

備・運営費支援を実施するなど、市民が安全、安心に暮らせるよう行政サービスの提供に努めました。その結果、一般会計の支出総額は953億1407万3782円で前年度に比べ6.5%の増となり、予算額に対して、93.6%の執行率となりました。

#### 【清水勝の決算特別委員会での質問】

- ①歳入では、国庫支出金の土木費国庫補助金、道路橋りょう費補助金の先導的官民連携支援事業補助金の補助金の内容と事業内容についてと都支出金の総務費都補助金の多摩の魅力発信事業補助金、スポーツ振興等事業費補助金の補助金の内容と事業内容について質問・意見した。
- ②歳出では、総務費のスポーツタウン府中、ラグビーのまち府中の事業推進費の事業内容、支出内訳について質問・意見した。また、衛生費のまちの環境美化事業の路上喫煙禁止路線の中心市街地へ拡大と土日のキャンペーンパトロール強化について質問・意見した。

# 平成28年度一般会計補正予算

## 補正予算の特徴

防災備蓄品の充実を図るなど防災対策事業として4事業、教育環境の整備事業では、小・中学校の窓ガラス落下防止対策を行うなど6事業、老朽化する公共施設・インフラの安全対策事業として、公共施設では、郷土の森博物館の復元建築物の改修など4事業、インフラでは、公園遊具の改修やけやき並木の危険木伐採の2事業、6月に府中市中心市街地活性化基本計画が国の認

定を受けたことに伴い、まちづくり会社設立の助成を行うなど、中心市街地の活性化を図るとともに国や都の制度改正等を受け、児童扶養手当における第2子以降に係る加算やB型肝炎ワクチンの定期予防接種化などの子育て支援施策の充実に関する3事業、介護ロボット導入などへの助成など、高齢者施策の充実に関する2事業の実施に向けた補正を行いました。歳入歳出総額に20億8761万円を追加し、当初予算1010億8062万円を1031億6823万円とすることが決定されました。

## 定例会中の各種委員会報告

### 常任委員会

総務委員会は議案5件、文教委員会は議案5件、報告3件、厚生委員会は議案7件、陳情5件、建設環境委員会は道路線認定、廃止の現地視察のあと、議案5件が審議された。

### 特別委員会

基地等跡地対策特別委員会は基地等跡地対策の6月報告以降の状況について、再開発対策特別委員会は府中駅南口第一地区の組合の会議開催状況、活動状況、公共公益床の内装工事と本体工事との一体施工の状況について、市庁舎建設特別委員会は新庁舎建設の敷地拡張の進捗状況、設計に関する状況等が報告、審議された。

## 地域活動等

市民の声を反映しています。

①東芝南門バス停の草木が伸び、通行の妨げになっていることから担当部署に連絡し対応していただいた。

今後は、富士見通りならびに東芝府中事業所周辺についても定期的に対応していただけるように市担当部署と調整を進めています。



②昨年の9月定例議会で一般質問した自転車走行ルールの徹底の一環として、自転車ナビマークの整備事業がスタートし、東芝南門の美好町通りと番場北裏通りに設置された。今後3年間で、市道の総延長30kmが整備される予定となっている。

これからも安心、安全で快適な街づくりを進めます。



③RWC2019、Tokyo2020のキャンプ地誘致に向けて、ジャパンラグビーセブンズ瀬川ヘッドコーチ、東芝府中事業所総務課の松田参事に協力いただき、府中市政策課担当者との情報交換を行い、今後の動きを確認した。

## 一人暮らしの高齢者等が安心して暮らすための安否確認システムについて

**Q** 高齢者等の一人暮らしで誰にも看取られることなく息を引き取り、相当期間放置されて発見される孤独死・孤立死の事例が報道されている。統計によると孤独死は年間約3万人といわれ、65歳以上の高齢者では、その半数の年間15,000人を超える方が、死後4日以上を経て発見されているとのことだ。

特に失業、退職、離婚などで仕事と家庭を失って孤立する中高年男性の問題は深刻で、調査では孤立死は男女比では2対1の割合で、男性の50代から60代に多いといわれている。また、最近では若者にとっても他人事ではない。近隣、地域との社会的なコミュニケーションを苦手とする若者が増え、20代、30代の孤独死の発見件数も増加傾向にあるという。仕事をしていれば、会社の誰かが気づいてくれるかもしれないが、失業中だったり、在宅勤務などでは気づかれにくいことがある。

そこで、高齢者を含む一人暮らしの方が安心して暮らすために、府中市の安否確認システム、緊急通報システムなどの見守りサービスの現状と今後について以下の質問をする。

- (1) 府中市の一人暮らしの年代別人数と高齢者のみの世帯数は？
- (2) 府中市が貸与している安否確認システム(緊急通報システム)の概要は？
- (3) 緊急通報システムの高齢者の利用者数推移は？
- (4) 緊急通報システムの実際の通報状況は？
- (5) 府中市高齢者見守りネットワークの概要は？
- (6) 今後の新システム更新の考え方について(例:プッシュ通報方式に加えてリズムセンサー通報方式導入など)



### A 【担当部長答弁】

(1) 一人暮らしの年代別の人数は、

20代	12,108人	30代	8,388人
40代	8,411人	50代	6,148人
60代	6,278人	70代	5,505人
80代	4,975人	90歳以上	1,408人

であり、高齢者のみ世帯数は、25,634世帯である。

(2) システムの概要には、二つの事業があり、65歳以上の独り暮らし、または、65歳以上のみの世帯の方で、心疾患および脳血管疾患等の発作を伴う疾患をお持ちの方を対象とした利用者負担のない事業と70歳以上の独り暮らし、または、75歳以上のみの世帯の方で、疾患等を問わず日常生活に不安のある方を対象とした利用者負担のある事業としている。

いずれも、利用者の自宅の壁等へ設置するための緊急通報システムの機器及び家の中で持ち歩くためのペンダント型の機器を貸与しており、「緊急」ボタンを押すことにより、民間受信センターへつながり、必要に応じて人員の出動や救急車の手配を行うものである。

また、「相談」のボタンもついており、健康に関することや不安がある場合などに、看護師等の専門職が、24時間体制で相談に対応することができるシステムとなっている。

さらに、毎月、民間受信センターから、利用者にお伺いの電話をすることで、近況を把握することに努めている。

(3) 緊急通報システムの高齢者の利用者数の推移では、平成25

年度から27年度までの各年度末時点の合計の設置台数では、

平成25年度	338台
平成26年度	388台
平成27年度	450台

(4) 緊急通報システムの実際の通報状況では、緊急性を確認して救急車の出動につながった通報の件数は、

平成25年度	70件
平成26年度	74件
平成27年度	127件

(5) 高齢の方が住みなれた地域で安心して生活していくため、一人が特定の個人を見守るという役割を決めずに、プライバシーに配慮しながら地域全体で見守り、支援するもので、市内に11か所ある地域包括支援センターを拠点として、「きざし」「きづき」「さりげない見守り」「れんらく」の頭文字をとり「き・き・さ・れ(危機され)」を合言葉に、身近な気づきを、地域包括支援センターにご連絡いただくよう、啓発、普及に努めている。

(6) 日常生活上で必ず使用すると想定される部屋の一部分にセンサーを設置し、一定時間反応がなかった場合に、自動的に発報するシステムが有効であると考えている。

万が一、利用者が急な疾患やけがで身動きがとれなくなり、緊急通報のボタンを押すことが出来ない場合等に、早期の発見と対応が可能になるもので、在宅高齢者の見守りの強化につながると思われるので、今後、リズムセンサーの導入に向けた検討をさらに進めたいと考えている。

**Q** (1) 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への普及が進んでいないと思うが、今後のPR含めた促進をどのように考えているか？

(2) 緊急通報システムを1台貸与するのに必要な経費はいくらか？また、現在オプションとして検討しているリズムセンサー導入にかかる経費は1台当たりいくらか？

(3) 既存システムの他メーカーでも安価で機能的に優れたシステムが考えられるが、具体的に比較、検討はされているか？

(4) 若年層も含め、個々が健康管理に努めることを前提としながらも、緊急時の安全・安心な暮らしのために通報システム貸与対象者の拡大についての考え方は？

### A 【担当部長答弁】

(1) 現在、市のホームページや「おとしよりのふくし」及び「わたしの便利帳」において内容を掲載しているほか、各地域包括

支援センターが、地域の自治会や老人クラブなどの情報交換している地域支援連絡会において、昨年度からデモ機を使い、緊急通報システムのPRを行っている。地域とのつながりが希薄な高



齢者の中には、緊急通報システムの利用が必要であるにも関わらず、サービスの存在を知らない方もおられると思うので、さらに多くの方に周知できるよう、検討していく必要があるものと考えている。

(2) 緊急通報システムの経費は、平均して一ヵ月あたり、1台約4,000円となっている。また、リズムセンサーにかかる経費は、一ヵ月あたり、1台800円程度と見込んでいる。

(3) 現在、契約している2社が対応可能なセンサーを設置するだけで利用が可能となるため、利用方法は大きく変更になりませんが、他の方式を採用した場合、撤去及び新規の設置に日数を要するほか、使用方法の変更など、利用者の負担が大きくなる。入れ替え機器の撤去及び新規設置にかかる費用が生じることとなる。現時点では、現在契約中の2社が対応可能な方式を導入することが、利用者の負担や設置経費等の軽減につながるものと考え

ている。しかし、近年、様々な事業者が新たなシステムの開発を進めているため、現在契約中のシステムに拘らず、柔軟に対応していくことも必要であると考えている。

(4) 本市では高齢者を対象とした緊急通報システム事業のほか、一人暮らしの方で、18歳以上の重度の身体障害のある方を対象とした同様の事業がある。

民間サービスの場合、年齢や疾病、障害の有無に関わらず利用することは可能だが、現在、事業者においても積極的なPRはなく、ニーズを把握する機会もなかったことなどから、対象者の拡大については、検討されていないのが現状だ。

しかし、孤独死については、一般的に50歳代から危険性が高まるともいわれているため、65歳未満の方への情報提供も必要であると認識している。そこで、これらの方への情報提供や支援の仕組みについては、今後の課題としたいと考える。

## 意見

緊急通報システムのPR、促進については、市のホームページや広報誌等を利用しPRするとともに実機でのPRを行うなど工夫しながら行っていることは理解したが、さらに周知徹底させるためには、もう一つ工夫しながら検討を進めていく必要がある。高齢者と高齢者世帯のみならず、若年層や中高年世代も含めた市民全体へのPRを進めることも必要だと思う。

経費では、1台当たりオプションを含めると4,800円程度かかるとのことだが、現在では初期費用負担のみで、利用できるシステムもある。契約している2社に限らず、他社メーカーもいろんな視点から比較、検討する中で、進めていただきたいと思う。高齢者のみならず、多くの市民が選択利用できる機会を与えることも市としての安心、安全で快適なまちづくりの一つと考えている。これは、何もすべてにおいて市の経費支出で行うという考えではない。他県のホームページには、同様のシステムを扱う企業一覧をまとめたページもある。このような紹介をすることによって、興味のなかった市民が個人の判断で利用することも考えられる。是

非、現状に拘らずに一歩進めた取り組みの検討をお願いしたい。

本来なら、孤独死・孤立死への対応は、若年層や50代、60代の前半の方も含めた、市民全体の安心、安全の安否確認システム環境を整えることが必要だと考えている。

もちろん、安否確認システムがあるから全てに安心、安全が確保されるものではないし、府中市は、スポーツタウン府中として、市民の誰もが健康意識を持ち、運動などにより健康増進をする健康都市を目指していることも重要なことであるが、孤独死、孤立死というのは、いつどこで起こるか予測がつかない。

将来的には、安否確認システムについては、市が全て負担するのではなく、一部、個々人の負担も取り入れる中で、新たな機器導入や様々な角度から検討を加え、幅広く災害時の対策等にも利用が出来ると思う。現在よりも対象者の拡大がどのように出来るか、大きな課題であると思うが、関係する部門が連携しながら、庁内全体で考え、より深く検討を進めて具現化されるようお願いしたい。

## 平成29年度府中市予算に対する 会派要望書を高野市長に提出

9月30日(金)9月定例議会の本会議終了後に高野市長に対し、来年度(平成29年度)の府中市予算の市民フォーラム会派要望書を提出しました。今後、市庁舎内での編成会議等を経て、予算案が策定されます。



### 府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ  
1983年 山梨県立甲府工業高校卒/㈱東芝府中工場入社/コンピュータ製造・試験・工程管理  
1994年~2015年  
◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・電機東京役員/◆府中市各種審議会委員等を歴任  
2015年4月 府中市議会議員初当選(112959票)  
◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問  
◆市議会  
2015年度 建設環境委員会副委員長  
2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長②/議会報編集委員会委員②/府中市交通安全対策審議会委員②/府中市総合計画審議会委員/三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会委員(道路)②

■清水勝HP



■Facebook



■清水勝ホームページ  
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>

■Facebook  
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に  
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内  
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com